



令和4年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和3年9月10日

上場会社名 株式会社 精養軒

上場取引所 東

コード番号 9734 URL <https://www.seiyoken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 裕

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 清田 祐司

TEL 03-3821-2181

四半期報告書提出予定日 令和3年9月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 令和4年1月期第2四半期の業績(令和3年2月1日～令和3年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年1月期第2四半期	335	13.8	530		377		394	
3年1月期第2四半期	388	77.9	616		587		615	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年1月期第2四半期	151.49	
3年1月期第2四半期	236.48	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
4年1月期第2四半期	5,250	2,080		39.6	799.88	
3年1月期	5,620	2,468		43.9	948.86	

(参考)自己資本 4年1月期第2四半期 2,080百万円 3年1月期 2,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年1月期		0.00			
4年1月期		0.00			
4年1月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において令和4年1月期の配当予想については、中間配当金は無配、期末配当金は未定であります。

3. 令和4年1月期の業績予想(令和3年2月1日～令和4年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

令和4年1月期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、我が国経済は深刻な打撃をうけ、現在も収束の時期やその影響は見通すことができず、極めて不透明な状況にあります。今後、業績予想が合理的に算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年1月期2Q	2,628,000 株	3年1月期	2,628,000 株
期末自己株式数	4年1月期2Q	27,423 株	3年1月期	27,384 株
期中平均株式数(四半期累計)	4年1月期2Q	2,600,587 株	3年1月期2Q	2,600,616 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大により、経済活動が停滞し、極めて深刻な事態となりました。今年度に入り、製造業は、輸出の回復をうけ、増益基調になったものの、非製造業、特に新型コロナウイルス感染症の影響が大きい飲食、サービス、宿泊業などは、未だ赤字が継続しており、企業収益は二極化しております。

飲食業界におきましても、「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」が長期にわたり発出される中、外出自粛や集団会食に対する警戒感の高まり、時短営業・酒類提供停止要請などにより、通常営業には程遠い状態が続き、極めて厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社といたしましては、お客様、従業員の安全確保を最優先課題と位置づけ、感染防止対策を徹底し、当社施設を地元台東区のワクチン接種会場に提供するなど、政府・東京都・台東区からの協力要請を厳格に順守して参りました。また、効率的な人員配置及び、コスト削減に努めて参りました。さらに、スクラップアンドビルドの一環として、令和3年7月末日で「3153店（台東区上野公園1-57）」を閉店いたしました。

しかしながら、長期にわたる営業制限や当社店舗が集中する上野公園の大幅な来園者数の減少、多人数による宴会への警戒感などから、売上回復の兆しは見えず、引き続き、業績が低迷しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は335百万円（前年同期比13.8%減）となりました。営業損失は530百万円（前年同期は営業損失616百万円）、経常損失は377百万円（前年同期は経常損失587百万円）、四半期純損失は394百万円（前年同期は四半期純損失615百万円）となりました。

今後につきましては、令和3年及び令和4年をコロナ禍からアフターコロナへの移行期ととらえ、ワクチン接種が拡大する中、徐々に飲食需要が回復してくるものと予想されております。

当社といたしましては、アフターコロナを見据えて、競争力を強化するために、営業戦略の見直しによる営業の強化、損益分岐点引下げによる収益力の強化、将来を展望した人材の育成を重点課題として、取り組んで参ります。アフターコロナを見据えて、競争力を強化するために、営業戦略の見直しによる営業の強化、損益分岐点引下げによる収益力の強化、将来を展望した人材の育成を重点課題として、取り組んで参ります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ370百万円減少し5,250百万円となりました。流動資産は363百万円減少の3,510百万円、固定資産は7百万円減少の1,740百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が229百万円及びその他が153百万円減少したことによるものです。

固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産が13百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末と比べ18百万円増加し、3,170百万円となりました。流動負債は46百万円増加の274百万円、固定負債は28百万円減少の2,896百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、買掛金が16百万円及び資産除去債務が12百万円並びにその他が10百万円増加したことによるものです。

固定負債の減少の主な要因は、長期前受収益が36百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は前事業年度末と比べ387百万円減少し2,080百万円となりました。この減少の主な要因は、四半期純損失の計上等で利益剰余金が394百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大により、昨年2月以降、国内外で大規模な行動自粛の措置がとられる中、企業及び消費活動は停滞し、国内経済は急速に悪化いたしました。

緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発出され、長期にわたり継続される中、外出自粛や集団会食に対する警戒感の高まり、時短営業・酒類提供停止要請などにより、通常営業には程遠い状態が続き、極めて厳しい経営環境となりましたので、令和4年1月期通期業績の予想は引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和3年1月31日)	当第2四半期会計期間 (令和3年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,646,984	3,417,880
売掛金	12,912	33,526
たな卸資産	23,221	21,960
その他	189,685	36,563
貸倒引当金	△575	△395
流動資産合計	3,872,228	3,509,535
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	337,474	322,783
土地	609,188	609,188
その他（純額）	52,628	54,230
有形固定資産合計	999,290	986,202
無形固定資産	2,023	3,439
投資その他の資産		
投資有価証券	690,448	694,929
その他	55,806	55,806
投資その他の資産合計	746,254	750,735
固定資産合計	1,747,568	1,740,375
資産合計	5,619,795	5,249,910
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,739	21,269
未払金	64,263	69,716
未払費用	47,917	51,235
未払法人税等	844	505
前受収益	72,647	72,647
賞与引当金	11,390	11,270
資産除去債務	-	12,305
その他	25,232	34,986
流動負債合計	228,030	273,933
固定負債		
退職給付引当金	532,203	532,454
役員退職慰労引当金	130,930	138,507
繰延税金負債	126,482	123,847
長期前受収益	2,129,036	2,092,712
その他	5,501	8,315
固定負債合計	2,924,151	2,895,835
負債合計	3,152,181	3,169,768

(単位：千円)

	前事業年度 (令和3年1月31日)	当第2四半期会計期間 (令和3年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	131,400	50,000
資本剰余金	4,330	85,730
利益剰余金	2,104,418	1,710,465
自己株式	△20,650	△20,685
株主資本合計	2,219,498	1,825,510
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	248,116	254,632
評価・換算差額等合計	248,116	254,632
純資産合計	2,467,614	2,080,142
負債純資産合計	5,619,795	5,249,910

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 令和2年2月1日 至 令和2年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 令和3年2月1日 至 令和3年7月31日)
売上高	388,231	334,718
売上原価	328,982	289,536
売上総利益	59,249	45,182
販売費及び一般管理費	674,880	575,665
営業損失(△)	△615,631	△530,483
営業外収益		
受取利息	812	498
受取配当金	5,854	4,550
雇用調整助成金	23,044	140,487
雑収入	3,583	8,687
営業外収益合計	33,293	154,222
営業外費用		
減価償却費	5,071	557
営業外費用合計	5,071	557
経常損失(△)	△587,409	△376,818
特別損失		
固定資産除却損	254	0
減損損失	-	13,196
店舗閉鎖損失	-	3,435
特別損失合計	254	16,630
税引前四半期純損失(△)	△587,663	△393,448
法人税、住民税及び事業税	505	505
法人税等調整額	26,819	-
法人税等合計	27,324	505
四半期純損失(△)	△614,987	△393,953

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。